

にこりこー帯にぎわい会議 第8回 会議録

日時 平成29年8月24日(金) 19:00～21:30

場所 箕輪町役場 2階 大会議室

参加者 (敬称略)

委員 鮎澤進二、唐澤榮子、唐澤良忠、栗原勇雄、黒木一郎、柴みずほ、
和田篤士、柴宮勇一、増沢弘久、廣瀬桃子

以上10名

(欠席 根橋英一、木下深、田中健太、唐澤一美、関幹子、小野路子、
齋藤浩介)

事務局 産業振興課 課長 三井清一 係長 土岐俊、主事 大槻 恵子

傍聴者 1名

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

運営主体としてのJAとの打ち合わせについて

8月7日にJA上伊那箕輪町支所と、一帯の運営についての相談を行ったが、現場での判断が難しいと思われるため、8月31日にJA上伊那の組合長と町長が協議することが決定した。

4 協議事項

① にこりこー帯のにぎわい戦略について(資料1)

前回に引き続き、にこりこー帯で実現したい価値である「箕輪の土地で農がつくる価値を伝え、楽しむことが出来る場所」に照らして、施設ごとのありたい姿を検討する。

(ABCの3チームに分かれ、ワークショップ形式で話し合う)

○収穫体験（果樹団地の活用）について

A チーム

- ・オーナー制。収穫だけでなく、何度も足を運ぶ理由になり、成長の過程を見てもらうことが出来る。果樹だけでなく、コーン・アスパラでも出来る。
- ・生産者の労力負担が心配
- ・子どもに配慮した棚の高さ

B チーム

- ・収穫体験は作業が終わるとすぐ帰ってしまい、もったいない。
体験カレンダーを作り、お米・野菜・観光資源も組み合わせて、一覧で提供できる複合カレンダーを作っていくが。

C チーム

- ・ぶどう、りんごの収穫期は重なる。ナズナ、山菜なども含めて情報提供。
- ・「収穫」と「食べること」をセットで経験出来たら。
- ・観光旅行会社と合せて集客してはどうか。
- ・果樹団地の農家は、収穫体験についてどう考えているのか？
→JA から：観光事業を行う場合がある旨話してあるが、具体についてはお話ししていないので、観光農園化する場合には説明していく。
ブドウについては試験的にオーナー制を始めており、アスパラ・スイートコーンの体験も可能。

全体協議

- ・果樹団地で収穫したもので、加工所でジュースはすぐ作れるのか？
→ジュースを作るための設備や免許は現在ない。取得すれば可能。
- ・処理の速いクーボで、その場で収穫した果物のジャムを作り、瓶詰しては。名付けて「ジャムセッション」。加工所と畑が隣接している立地ならでは。
- 加工する人材の配置が必要。常時雇用は大変なので、日を定め取組んでは。収穫、加工の可能な日をカレンダー化してはどうか。

○追加して整備する、モノ・コトについて

C チーム

- ・ハードを作るのではなく、ソフトを作る方がいい。中身の充実が先。

B チーム

・子ども、高齢者、福祉という観点がこれからは大切。それに対応するものとして、トイレ、遊具、遊歩道（果樹園の中を歩く）、花が考えられる。今後、高齢化により福祉施設の数が増えることから、この方たちが散歩等に来てもらう場所として。花はコスモスや菜の花など、管理しやすいもので。

A チーム

- ・看板 何屋かわからないため
- ・アーケード 施設間のお客さんの対流、OPEN しているかわかりにくい問題を軒下に商品を陳列することで解決、売り場面積の拡張、イスを置いて日陰の休憩スペース化
- ・北側の舗装
- ・トイレの整備（外から使用できる）
- ・果樹団地の看板整備
- ・日陰、ほっとする場所（植樹）

全体協議

- ・トータルでのデザインを統一した方がいい。ブランディングできるデザイナーに依頼するなど、
- ・費用はかかるが、かんてんぱぱのような世界はどうか。

○「道の駅」という手段について（資料2）

事務局より説明

- ・にこりこり帯を道の駅として整備するかどうかについての参考資料

B チーム

- ・道の駅は必要
町のブランドづくりのために、また「道の駅」として期待されるレベルまで現状を改善する理由になる。ISO を取得するように。

A チーム

- ・道の駅にした方がいい
いずれにせよ、現状にトイレ・情報発信施設は必要であり、結局道の駅の要件を満たしてしまうので、それならば取得しては。
道の駅になることでナビにも案内され、集客が見込まれ、出荷する農家のためにもなる。

C チーム

・道の駅は必要ない

上伊那でも最後の方であり、他がやっているからやる、というのではダメ。知名度を上げるのであれば、道の駅にこだわる必要はない。まずは、中身をよくするべき。町の財政状況からしても、多額の費用を割いて作る必要があると言えるか、疑問。

② 今後のまとめ方とスケジュールについて

にこりこー帯に関する全ての施設・議題についての議論が一回りした。議論が真っ二つに割れている案件もあるが、今後は提言書としてまとめていく中で、さらに議論していただく予定である。

提言書としてまとめていくために、4人程度の小委員会を編成し、提言書の原案をまとめ、事前の議論を進めていきたいと思う。10月に最終報告を町長に提出するまで残り時間も多くないので、詰めていきたい。

小委員会の人選については、ご参加の委員から事務局一任を頂いたもので、こちらから随時お声掛けさせていただきたい。

次回開催日時 9月21日(木) 19:00から
場 所 箕輪町役場 2階 大会議室